

募 金 趣 意 書

盛夏の候 同窓の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。
さて、皆様ご案内のとおり、我が母校は本年(令和五年)創立五十周年の大きな節目を迎えます。
昭和四十九年、旧理科センター(現県立金沢二水高校敷地内)を仮校舎として五クラス二百二十五名の学校として創立し、翌昭和五十一年に金沢市藤江地区に新校舎を得て二年十クラスの規模で現在の母校の礎となりました。その後、普通科に英語コースを新設し、国際理解教育の先進校となり、平成八年には、県内全日制高校では初めての単位制高校に移行、翌年の平成九年には、前後期の二学期制へと変革して来しました。また、県庁舎の移転に伴い、金沢市藤江北の母校敷地が県庁に転用されることとなり、金沢市畝田東地区に当時としては、最新の設備を整えた現校舎に移転することとなりました。
このように、二度の校舎移転と二度の学校システムの変遷を経る中で、母校は一万六千人を超える有為の人材を世に送り出してきました。そして、五十年の歴史と伝統を継承し、更に二十一世紀に相応しい学校として、この先も発展していきます。
母校が歴史的発展を進めようとしている時、母校の前途を祝い、その一層の飛躍を期すため、「創立五十周年記念事業委員会」を結成し、左記の通り記念事業を行う運びとなりました。
つきましては、記念事業を実施するにあたり熱情溢れる同窓会の方々の絶大なる賛助をいただき、立派にこの事業が、有終の美を飾るよう念願しております。
ついでには、何かと出費でご多端の折、誠に恐縮でございますが、是非ご賛助賜りますようお願い申し上げます。
末筆ではありますが、同窓会員の皆様の一層のご活躍をお祈り申し上げます。

記

一、 記念事業

超短焦点壁掛対応プロジェクト寄贈(教室全室)

石川県立金沢西高等学校近二十年誌の発刊

記念式典

記念祝賀会

一、 募金目標額

金二千万円

一、 募 金 額

五千万円・二万円・三万円・五万円・十万円以上

一、 納入方法

左記銀行口座に振り込んで下さい。(但し、手数料をご負担下さい)
また、本会へ直接ご送金下さっても結構です。

(振込口座) 北國銀行 県庁支店

普通預金 〇〇〇六二二七

ゆうちょ銀行

(ゆうちょ銀行から振替の場合) 記号 〇〇七五〇〇一

番号 三九八〇一

(他の金融機関から振込の場合) 〇七九 店

当座預金 〇〇三九八〇一

(口座名義) 石川県立金沢西高等学校同窓会

北國銀行コレゾによるクレジット決済でもお申込みいただけます。

(注) 寄附金控除方式の場合はお振込みいただく口座が右記とは異なります。

お振込みいただく口座について準備ができ次第、ホームページで案内させていただきます。

一、 納入期限

令和六年三月三十一日(日)までにご利用します。

一、 納 入 先

千九二〇一〇三四四 石川県金沢市畝田東三丁目五二六番地

石川県立金沢西高等学校内 同窓会事務局

電話(〇七六)二六八一四三二一

令和五年八月

石川県立金沢西高等学校同窓会

会長 大畑 晃一

副会長 奥田 正人

越原 寿朗

浅野 哲洋

大谷 方人

近藤 公一	奥野 裕美	上村 悟	高井 俊也	中森 茂明	川筋 洋子	安田 昌彦	松尾 貞英	吉田 康了	石動 博一
濱田 弘行	森川 厚子	鍛冶 勉	仙石 正美	荒牧 芳枝	元林 裕二	清川 千明	和光 和美	米澤 佳弘	沼田 幸子
祖泉 信宏	宮谷 隆之	高田 均	山田 孝男	梶 昭彦	高木 康徳	中川 和光	宏朗 兵悟	村田 栄蔵	東川 昌美
釣本 佳幸	森井 起一	橋本 英敬	宮谷 内雄	前川 裕一	山崎 勝治	高多 高徳	一吉 兵悟	大田 繁	高島 貴美子
黒崎 充子	桶川 治秀	高木 実里	久岡 正志	田辺 典子	東川 智行	中村 隆吉	松原 果利	松本 紀	高井 佑史
栗野 功一	村田 栄路	松本 まゆみ	外山 典子	加藤 浩平	宮崎 俊郎	米澤 隆亮	長原 珠紀	押切 雅光	中盛 史
田中 美沙	寺出 俊一	山崎 美香	津田 大樹	宗田 敏幸	岡田 千恵	酒本 裕貴	松本 雅光	大赤 慎美	金谷 啓唯
渡邊 美緒	矢能 伸之	中川 津香	奥村 慎也	荒俣 志朗	板井 元成	中村 裕哉	松本 慎美	松本 慎美	古田 啓唯
連馬 秀昇	脇澤 麻陽	宮丸 友輔	奥谷 美奈	澤田 石彩	前崎 隆一	高田 純也	松本 慎美	坂本 慎美	古田 啓唯
伴田 千紘	石黒 里萌	大谷 佳吾	岡田 美奈	堀田 楓月	尾山 隆一	石田 結芽	藤田 純也	喜多 智菜	吉村 佳彦
小西 裕真	石川 志有	萬澤 楓	種村 優花	堀田 楓月	宮前 碩輝	梅本 歩実	藤田 純也	喜多 智菜	吉村 未菜